

なぜ？

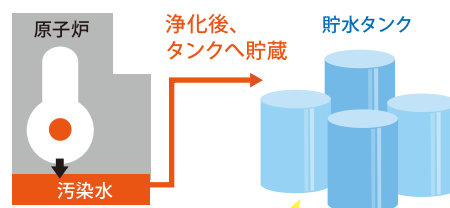
どうして？

あなたの疑問におこたえします。

1 「アルプス (ALPS) 処理水」ってそもそも何？

「アルプス (ALPS) 処理水」とは、原発事故によって発生した汚染水をアルプス (ALPS) 等の浄化装置でトリチウム以外の放射性物質を規制基準以下まで浄化処理したものをいいます。

福島第一原発で保管されている貯水タンクのアルプス (ALPS) 処理水は、処理水と言っても通常原発から放出されるトリチウム水とは違って、トリチウム以外の核種の存在が指摘されています。



そもそも通常原発から放出されるトリチウム水とは全く別物。核種全ては除去されません。

海洋放出の完了まで30~40年もの長い期間を要する計画です。東京電力福島第一原発の敷地内には、まだ貯水タンクを設置できる場所もあります。そのうちに放射性物質の半減期が過ぎていきますので、今すぐ急いで薄めて放出する必要はありません。



2 「アルプス (ALPS) 処理水」を海洋放出するとどんな問題が？

原発事故から10年間、安全な食品の確保のために、福島県では自主基準を設け全量検査を行うなどの取り組みを進めてきました。宮城県では、いまだに特産品のホヤが輸出できないなど、経済的にも大きなダメージを受けています。2年後に「アルプス (ALPS) 処理水」の海洋放出が行なわれると、国が言う基準内に薄めたものであっても、通常稼働している原発からは発生しない原発事故由来の放射性物質も放出されます。さらに新たな風評を生むことになり、今までの努力が無駄になり、困難が増してしまいます。



3 国と東電は、国民に対して誠実に、正しく情報を提示しているのでしょうか

これまで問題はないと表明したにもかかわらず、不具合が生じていたことが地元紙の取材で明らかになるなど、国や東電に対する信頼・信用が不十分だと、地元紙が伝えています。

何より「関係者の理解なしにはいかなる処分も行いません。」という約束が守られていません。国や東電は、海洋放出をすることよりも先に、汚染水処理に関して安全性の確保、国民への説明・理解を広げるために時間と労力を費やすべきです。

4 みんなの大事な海をどうしていくかを決めるのは、私たち自身！

原発事故のツケを、未来に押し付けていいものなのでしょうか。海洋放出は、環境の悪化と風評被害を拡大させます。

今回の「アルプス (ALPS) 処理水海洋放出」は、地元漁業者の暮らしを台無しにし、安心して暮らしたいみんなの思いを分断するものです。私たちの大事な海に本当に流していいものなのか？今、声を上げることが大切です。

